



「どんな車両でもお創りします」

車両用ホイール

株式会社 佐野車輛製作所



あらゆる車両部品を 知り尽くす

金型等の重量積載物を運搬する自走車・電動車、連結し荷物を積載するトレーラー、人力で荷物を運ぶための運搬車、車軸・タイヤ等の車両部品、そして、イベントやテーマパーク等で活躍するイベントカーと、佐野車輛製作所では大小様々な種類の産業用車両を製作・販売している。

車両部品メーカーとして、先代社長が戦後まもなく立ち上げた同社。当初は農業用車両の部品製作がメインだったが、徐々に産業用車両の部品製作へと移行していった。

約40年にわたり、車軸、タイヤ、ホイール、ブレーキ装置等、多種多様な部品の製作を手がけ、その間に

培われた「部品の技術とノウハウ」は、約20年前から着手した完成車両の製作においても大きな強みとなっている。

それを裏付けるのが「なければお創りいたします」という言葉。

「パーツの技術、ノウハウは充分に持っているのです、それらの組み合わせにより、毎年10000件以上のご提案と、200種類以上のニーズに対応した車両を開発しています。量産品ではなく、一台ごとの注文に応じた製品作りが当社の柱です」と佐野政敏社長は語る。実際、あらゆるニーズに応じた車両製作が可能であり、売上の50%がリピートオーダー。この数字が、顧客満足度の高さを表している。

探算度外視の挑戦が結実

同社では総売上額の10%の範囲内で、あえて「できないと思われるもの」、つまりは「新しい技術」を要する注文を受けることにしている。成功すれば、新しい技術の蓄積となるからだ。

7年前に開発した、大型無人搬送車はその一例。最大50tの積重量と無人稼働が可能なこの搬送車は大きな反響を呼び、大手を含む様々な企業から問い合わせが相次いだ。

ほかにも、4WS（前後四輪とも操舵できる）構造を搭載し、走行時に内輪差が1cmも発生しない車両の開発等、高い技術力によって最先端の製品をいくつも生み出してきた。

これら高い技術力を支えるのは「多技能技術者」である社員たちだ。

同社では、社員は入社するとまず製作部に配属され、「現場」でものづくりを学び、その後、各人の適性に合った部署へ配置されることとなる。この仕組みが、技術力を高め蓄積していく要因となっていることは言うまでもない。

「高い機能を持つ機械は当社にはありません。それより、高い技術を持つ人材の育成に力を入れています。ものづくりは人づくりからです」。

佐野社長の言葉に力がこもった。

株式会社 佐野車輛製作所

Company Profile

住所 / 〒584-0023
大阪府富田林市若松町東1-9-10
創業 / 昭和22年5月
設立 / 昭和36年11月
資本金 / 8,000万円
従業員 / 50名（平成21年1月現在）
TEL / 0721-24-5050
FAX / 0721-25-7710

ISO 9001

<http://www.teamsano.co.jp/>



佐野政敏さん
代表取締役社長

主な事業内容

特殊車両（トレーラー・電動車・バッテリー車）、物流システム、機器（搬送装置・油圧リフト・専用運搬車）、遊園地用車両等、企画・開発・生産等

大阪 13